

各 位

平成22年 11 月 4 日

| | |
|--------|---------------|
| 上場会社名 | 株式会社ロジネットジャパン |
| 代表者 | 代表取締役社長 木村 輝美 |
| (コード番号 | 9027 札証) |
| 問合せ責任者 | 専務取締役 小野寺克彦 |
| (TEL | 011-251-7755) |

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間において下記の特別損失が発生するとともに、平成 22 年 5 月 10 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

1. 特別損失の内容

| | |
|----------|--------|
| パレット整理損 | 75 百万円 |
| 過年度損益修正損 | 61 百万円 |

2. 発生の理由

(パレット整理損)

当社の子会社である札幌通運㈱では貨物の運送や保管を行うための資材として数万枚のパレットを使用しております。これらの多くはレンタルにより調達しておりますが、当第 2 四半期累計期間においてレンタル枚数と会社の管理下にある実勢枚数を調査した結果、所在不明となっているパレットがあることが判明いたしました。この所在不明のパレットについては今後のレンタル料の適正化を図るため解約することといたしました。この結果当第 2 四半期累計期間において「パレット整理損」として 75 百万円を特別損失に計上いたします。

尚、不明防止対策として、パレットの移動状況を詳細に把握するマニュアルを整備し運用する他、毎月のレンタル枚数と使用枚数をチェックすることにより、異常を早期に発見し個人責任を問える体制を構築いたしました。

(過年度損益修正損)

当社の子会社である札幌通運㈱において、顧客との請求締切日以降月末までの売掛債権の一部に適正な金額を超えるものがあつたため調査を行ったところ、過年度の売上について過大計上があることが判明致しました。これは、業務担当責任者が個人の成績を良く見せるため、売上を故意に過大計上していたものであります。この過大計上に関し、当第 2 四半期累計期間において「過年度損益修正損」として 61 百万円を特別損失に計上いたします。

尚、今回の事態に鑑み、売掛債権の総点検を実施し他に異常がないことを確認いたしました。また管理に不備があると認識し、売上の計上に関するチェック体制の整備、売掛債権の内部監査の強化等の対策を講じることとしました。

当社の子会社におきまして今般このような不祥事を発生させ、皆様方にご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後上記の改善策を講じ、再発防止に努めてまいりますので、皆様方のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

3. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株 当 り 四 半 期 純 利 益 |
|---------------------------------------|---------------|------------|------------|------------|------------------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 19,830 | 百万円 540 | 百万円 530 | 百万円 180 | 円 銭 13.66 |
| 今回発表予想(B) | 20,422 | 422 | 458 | 98 | 7.45 |
| 増減額(B-A) | 592 | △117 | △71 | △81 | |
| 増減率(%) | 3.0 | △21.7 | △13.5 | △45.5 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成 22 年 3 月期第2四半期) | 19,476 | 527 | 453 | △213 | △16.04 |

4. 平成 23 年 3 月期連結業績予想数値の修正

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株 当 り 当 期 純 利 益 |
|-------------------------------|---------------|--------------|--------------|------------|----------------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 40,600 | 百万円 1,070 | 百万円 1,010 | 百万円 400 | 円 銭 30.36 |
| 今回発表予想(B) | 40,600 | 1,070 | 1,010 | 300 | 22.77 |
| 増減額(B-A) | - | - | - | △100 | |
| 増減率(%) | - | - | - | △25.0 | |
| (ご参考)前期通期実績 (平成 22 年 3 月期) | 39,886 | 904 | 871 | △55 | △4.21 |

5. 修正等の理由

平成 23 年3月期第 2 四半期累計期間の業績については、上記の特別損失計上に伴い四半期純利益が 98 百万円になるとともに、営業収益は 20,422 百万円、経常利益は 458 百万円となる見込みであります。

平成 23 年 3 月期の業績予想については、上記の特別損失の計上に伴い当期純利益を 300 百万円に修正しておりますが、営業収益、営業利益及び経常利益については、前回予想通りとなる見込みで変更はございません。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上